

監査結果の公表(その4)

令和4年度 定期監査(その4)を実施した結果(一部抜粋)を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 山田 広宣



全文はこちら

◆監査の対象

・都市建設部
土木建設課、土木管理課、都市計画課、建築課、都市整備課、下水道課、川中島下水処理場

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

茂原市役所
上茂原西市宮住宅、真名市宮住宅、渋谷^{がいのち}隧道

◆監査の期間

令和5年1月13日から令和5年3月17日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

【共通事項】

全課共通

・本市における今後の財政運

営は、様々な要因により一層厳しくなることが予想される。少子化や高齢化に対応するための経費、さらには懸

案の災害対策に係る経費等、様々な行政需要による財政負担の増加に加え、市民生活に密接に関連するごみの新最終処分場の建設や長生病院B棟の改築等、長生郡市広域市町村圏組合の大規模事業の実施に伴い負担金も大幅に増加することが見込まれている。このような状況を十分認識し、危機感を持って事業の実施にあたり、経費の削減に努め、事業の見直しについても積極的に検討されたい。

・新型コロナウイルス感染症は、市民生活に大きな影響を与え、生活スタイルの変更も余儀なくされた。行政運営においても業務量の増加やコロナ対応のための業務手法の変更等大きな影響をもたらしている。ウイズコロナ・ポストコロナを見据え、よりよき未来を市民とともに再構築していくため、職員各々が「業務が何のためであるか」を常に念頭におきながら、事務事業の着実な推進に努められたい。

【部署別事項】

〈都市建設部〉

土木建設課

・道路や河川等整備事業については、諸物価高騰等の影響によりこれまでのような事業量の確保が困難となる懸念されることから、国・県補助金等歳入の積極的な確保に努めるとともに、様々な角度から適切かつ効果的な整備手法を検討し、市民の安全で安心な生活環境の確保に取り組みられたい。

都市計画課

・茂原長柄スマートインターチェンジについては、利用状況を分析するとともに更なる利用促進に努められたい。また、周辺地区の活性化にあたっては、企業誘致を図るなど有効な土地利用に繋がるよう、引き続き庁内関係部署と連携しながら民間企業等へも積極的な働きかけを行われたい。

土木管理課

・道路橋梁等社会インフラの老朽化による不良箇所については、重大事故の要因となり得ることから、早期発見、早期対応に努めるとともに、事

業費予算の確保や職員体制の整備に努め、安全で安心な市民生活確保のため遺漏のない対応を図られたい。

・交通安全施設等の整備・補修にあたっては、通勤通学など市民生活における安全性を確保するため、土木建設課と連携し、緊急性や重要性を勘案しながら迅速に対応されたい。

・今年度策定される新たな都市計画マスタープランについては、本市の将来のまちづくりに係る指針となることから、プラン実現に向け企画政策課等と連携を図りながら適宜関連計画の進行管理を行い、主体性をもって魅力あるまちづくりに取り組まれたい。

・新たな地域公共交通計画については、アンケート結果を基に本市にとって望ましい地域公共交通の在り方を検討し、優先順位を見極めながら実効性のある計画を策定されたい。